

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101390
事業所名	グループホーム かみさの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	職員配置がきつくなっているせいもあって、地域のふれあいサロンへの参加が難しくなっているが、何とか都合を付けて年間2回の参加を果している。地域の保育園児との交流が継続しており、園児がホームに慰問に訪れたり、利用者が招待を受けて園児の太鼓演奏や盆踊りを楽しんだ。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に一度の運営推進会議は、行政枠での地域包括支援センター職員や介護相談員の他、多くの地域代表が参加している。2地区の総代が2名、老人クラブ連合会副会長と老人クラブの代表、福祉委員会委員長、その他にも地域の代表が2名と多士済々である。会議の中で、運営推進会議の意義や目的等もしっかりと伝えられている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市内のグループホーム事業所で構成されている「グループホーム小部会」に参加し、小部会主催の研修（「身体拘束と高齢者虐待」）にも職員が参加している。市から案内のあった「栄養ケア」の研修にも参加した。毎月、介護相談員の訪問を受けており、市との連携は強固である。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議には、家族代表として1名だけの出席であるが、年に3回開催される家族会への出席率が70%、家族の意見や要望はホームに届いている。毎月発行される“便り”がホームの状況や利用者の様子を詳細に伝え、家族に安心感を与えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	